

会 議 名	平成30年5月第1回臨時記者会見
日 時	平成30年5月10日（木） 午前9時30分～
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p>開会</p> <p>それでは定刻になりましたので、ただいまから臨時記者会見を始めます。本日は市からの発表事項が1件ございます。</p>
市 長	<p>市からの発表事項</p> <p>企業立地によって、産業活力を生み出します！</p> <p>～新工業団地の名称決定と第1期予約販売開始のお知らせ～</p> <p>おはようございます。</p> <p>今日は臨時で記者会見を開かせていただきました。今日の発表事項は、新工業団地の名称決定と、この工業団地の第1期予約販売開始のお知らせです。発表資料のリード文にありますように、東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジ周辺地区で整備をしている工業団地の名称を決定し、全6区画のうち2区画を先行して予約販売手続きを開始いたします。これによりまして、健康産業や食品加工関連企業に重点を置いて集積を進めることによって、地域の物的・知的資源を生かした福島らしい産業の振興を図るとともに、地域内循環による経済の活性化を促進してまいります。</p> <p>資料をご覧くださいと思いますが、まず、団地の名称は「福島おおざそうインター工業団地」ということで、インターチェンジの名前を冠することにしました。それによりまして、インターチェンジに隣接するという立地条件をまずアピールしていくこととございます。それから、「大笹生」を平仮名で表記しまして、正しく読んでいただくということとあります。</p> <p>「2 第1期予約販売（公募）の概要」ですが、こちら（画面）をご覧くださいと思いますが、全体の工業団地の開発面積が13.37ヘクタールあります。そのうち工業用地の面積は、7.4ヘクタールという形になります。全6区画ありまして、そのうちのA区画とB区画を今回先行して予約販売を行うというものであります。A区画の方は、面積が13,150㎡でありまして、分譲単価が1㎡あたり17,400円となります。B区画は、面積が9,200㎡で、分譲単価が1㎡あたり16,500円という形になります。申込受付期間は、本日から6月25日（月）までの47日間という形にいたし</p>

ます。申込をいただきましたら、市の方で7月上旬までに立地計画の審査を行います。雇用創出や地域振興などの観点から立地計画を審査させていただきまして、売却先を決定（内定）させていただく予定であります。売却の内定時期は7月中旬を目指しております。契約・引渡しにつきましては、それぞれ（5）に書いてある通りでございます。

「3『福島おおぞらインター工業団地』の魅力」についてご説明させていただきます。図面をご覧ください。なんととってもアピールポイントは、広域的な高速道路ネットワークの結節点に位置するインターチェンジに直結しているということです。これはとてつもない便利な立地条件かと思えます。そして、これによりまして南東北エリアの主要都市、さらには首都圏とのアクセスが向上するというものであります。もうひとつは、「道の駅」との連携によるビジネスチャンスが拡大し、新たな産業の形が期待できるということでもあります。具体的には、（画面を差し）高速交通網のネットワーク図です。福島大笹生インターチェンジが東北自動車道と東北中央自動車道の結節点にあたるわけですが、それに限らず、郡山の結節点を通じて新潟・いわきの方も当然視野に入れることができますし、各地からモノが入り、モノを運んでいくというちょうど中心に位置することにもなるかと思えます。さらに新幹線も使えますし、空港の方も福島空港はもとより、仙台空港も、70分ぐらいですかね、非常に近く使えるということで、その点で非常に便利なのが「福島おおぞらインター工業団地」かなと思っております。

それから、次お願いします（画面切り替え）、完成予想図と申しますか、我々のイメージ図ですが、今回はこちらふたつ（A区画、B区画）ですけれども、実はここに「道の駅」の整備を進めております。まだイメージ図ですけれども、「道の駅」と隣接した工業団地は非常に珍しいと思えます。その点では、いろいろな交流が生まれ、あるいはここで何かいろいろなことをやったり、情報をアピールするとか、さまざまな活用が「道の駅」との連携でできるのではないかと期待しております。

特にこちらの工業団地は、先ほど申し上げましたように、健康産業や食品加工関連企業などを重点的に誘致するというようにしておりますので、その点では「道の駅」との連携というのは非常に可能性が高いのではないのかなと思っております。

こういったことによりまして、今申し上げたように、健康産業や食品関連産業などの集積をはかっていくということでございますが、この工業団地全体の経済波及効果は、これまでの例から推定いたしますと、45.5億円ぐらいになるかなと思っております。それから、新規雇用者数も約100人というのが、全6区画による

	<p>効果という形で見込んでおります。いずれに関しましても、まだ調整中に売り出すという異例の対応ではありますが、いろいろと情報発信なりアピールをして、この公募期間中に多くの企業のみなさんに申し込んでいただけるように努力していきたいと思っております。</p> <p>私からは以上です。</p>
広報課長	<p>質疑応答</p> <p>それでは、ただいまの発表事項について、質疑応答に移ります。ご質問の際は、挙手・指名の後、社名とお名前をおっしゃっていただき、ご発言をお願いします。</p>
記者	<p>現時点で、交渉や問い合わせのある企業数は把握しておりますでしょうか。</p>
市長	<p>いろいろな形で問い合わせいただいているのは、これまでで40社ぐらいです。その点では、「福島おおぞらインター工業団地」に対する関心が高いのではないかと見込んでおります。</p>
記者	<p>関連してですが、市内に空きがある工業団地の区画はどのぐらいありますかでしょうか。</p>
市長	<p>今、2工業団地で合計4.7ヘクタールあります。ただ、これはいずれも仮設住宅などの復興関連で提供しておりますので、今現在我々としても売りたいくても売れないという状況にありますので、そういう面での「売れ残り」という観点では基本的にはないという状況にあります。</p>
広報課長	<p>他にございませんか。</p>
記者	<p>2区画を先行して売り出された理由というか背景をお聞かせください。</p>
市長	<p>この2区画が全区画のなかで整備を先行してやっていくということになるのですが、我々とすれば今が非常にチャンスだというふうに思っているからであります。今申し上げたように、関心が高いのでそういったものを逃したくないというのがひとつです。それから、我々は「津波補助金」と言っているのですが、国の復興関連の企業立地補助金の第8次公募がこの夏8月24日（金）を締め切りとして募集されております。これは復興関連の補助金</p>

	<p>としては最後になるかなと見込んでおりますので、そういう点では、ぜひ、そこには間に合わせて、企業さんも手厚い支援の下で立地していただけると尚更いいだろうと思って今やっております。さらに平成33年3月末までで復興投資促進特区による税の優遇制度もありますので、そういったものも活用できます。やはり、相手のことを考えますと、できるだけいい条件で立地できるような努力を、我々市としても最大限したいというのが今回の先行販売の理由です。</p>
広報課長	<p>他にございましたらお願いします。</p>
市長	<p>ちなみにアピールしますと、今までの国の2つの補助金と税制に加えて、市の方も土地代の50%から最大70%を助成する用地取得補助助成金、これは今回3月で条例改正をしてこのような制度にいたしました。さらに地元の新規雇用に関しては、1人当たり最大90万円の雇用奨励助成金があります。さらに今回福島市として、新たに設けたのは、人口減少社会の中で県外からの転入者に対して20万円の転入支援助成金というようなものも設けておりますので、こういったものを合わせると、立地条件といい、支援制度といい、企業さんにとっては非常にメリットの高い福島での立地になるかと自信をもっております。</p>
広報課長	<p>その他の質疑応答 他に質問はございますか。 本件につきましては、ご質問は以上で締めさせていただきます。若干お時間ありますので、その他のことで何かございましたらお願いいたします。</p>
市長	<p>これ（福島おおざそうインター工業団地）についてお願いするとすれば、県内もそうですが全国の市の方、あるいは事業系の方に取り上げていただけるとうれしいですので、よろしくお願いいたします。</p>
記者	<p>全く関係ない話で大変恐縮なんですけど、天皇・皇后両陛下が古関裕而記念館を見てまわるという話を見たのですが、連ドラの話もありますし、今後どうされるのかを聞きたい。</p>
市長	<p>昨日コメントも発表させていただきましたが、両陛下にご視察いただけるとするのは光栄であり、私としても大変うれしい限りでございます。古関裕而さんは前回のオリンピックマーチを作ったという点では、オリンピック関連でもありますので、我々として</p>

	<p>は東京オリンピック・パラリンピック関連の事業をより促進させるのははじめとして、復興創成の事業をさらに加速させるとともに、今お話のあった古関裕而さんにちなんだご夫妻のテレビドラマ化に関してもこれまで以上に市民で盛り上がっていったり取り組んでいきたいと思っております。おとといの協議会でもお示しをさせていただきましたけれども、テレビドラマ化自体がひとつの大きな目標ではあるのですが、我々のまちづくりに活かすということがより大事になってくるので、今回の運動を機に、古関裕而さんをひとつの材料としたまちづくりをさらに展開していけるよう、文化都市づくりを目指していきたいと考えております。両陛下のご訪問は我々にとって、そういう大きなバネになり、弾みになるかなと喜んでおります。</p>
<p>広報課長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>広報課長</p>	<p>閉会 それでは、以上をもちまして、本日の臨時記者会見を終了いたします。</p>